

ホンダがサークルK・サンクスカップを制す

～日本ハンドボールリーグ第4週～

第27回日本ハンドボールリーグは11月16、17日、男子4試合がサークルK・サンクスカップ最終週として行われ、ホンダが湧永製薬の追撃を振り切って7連勝を飾り、同カップの優勝に輝いた(この1ステージの全結果は3回戦制の総合成績に組み入れられる)。

前週まで6戦全勝のホンダと5勝1敗の湧永製薬がサークルK・サンクスカップ最終戦で優勝をかけて激突。立ち上がり、ホンダはクリチェンコ、ストックランのコンビで先行すれば、湧永製薬もブラマニス、下川らで応戦。10分5-5と互角のすべり出しとなったが、このあとストックランのパスカットからの得点で13分9-5と混戦を抜け出したホンダが、クリチェンコの巧みなパスワークを受けた池辺のポストシュートなどで加点して前半17-11で折り返した。

後半に入ってもホンダの攻勢が続き、ストックラン、茅場の連取などで5分22-13と大量リードを奪い、試合の行方を決定づけたかと思われた。しかし、ここから湧永製薬が猛反撃。ホンダ・ストックランを徹底マークし、新鋭GK・松村の好守も光って失点を抑える一方、得意のスピーディな展開に持ち込んで次々と速攻を仕掛けた。湧永製薬が13分までに7連取して20-22と急追。その後、両チーム得点の奪い合いとなり、好プレーの応酬で試合は大いに盛り上がった。

26分、浜本の速攻で26-27と湧永製薬が1点差と肉薄。しかし、ここからホンダもしぶとく盛り返し、ストックランの7mT、広政のサイドで27分29-26とリードを死守、湧永製薬の反撃を森山の1得点に抑えて逃げ切りに成功した。これでホンダが7戦全勝でサークルK・サンクスカップの優勝に輝き、この日10得点をマークしたストックランが最高殊勲選手賞に輝いた。

そのほか、大同特殊鋼とホンダ熊本が終始1点を争う大接戦を展開、終盤、米満、佐伯らでリードを奪ったホンダ熊本に対し、大同特殊鋼は朴、太田の連打で残り1分に同点に追いついて19-19と辛くもドロロー。大崎電気はトヨタ車体の追撃を振り切って4勝3敗とした。また前週、大崎電気に快勝したアラコ九州がHC東京を逆転で下して2連勝と波に乗ってきた。

次週も男子は各2試合と強行日程が続き、大崎電気が上位生き残りをかけて大同特殊鋼、湧永製薬と連戦。女子は北国銀行-オムロン、広島メイプルレッズ-シャトレレーゼの好カードが組まれている。



サークルK・サンクスカップのMVPに輝いた
ホンダ・ストックラン

第5週の日程

(組み合わせ左側がホームチーム)

[1部]

- 11月20日(水) 愛知・大同工業大学石井記念体育館(名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩10分) 18:00~(男) 大同特殊鋼×大崎電気
三重・本田技研健保体育館(近鉄線平田町駅徒歩15分) 18:00~(男) ホンダ×アラコ九州
広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分) 18:00~(男) 湧永製薬×HC東京
熊本・熊本市総合体育館(JR豊肥線水前寺駅徒歩20分) 18:30~(男) ホンダ熊本×トヨタ車体
11月23日(土) 埼玉・八潮市立鶴ヶ首根体育館(東武伊勢崎線草加駅徒歩15分) 14:00~(男) 大崎電気×湧永製薬
福井・北陸電力福井体育館フレア(JR北陸本線福井駅徒歩30分) 15:00~(女) 北国銀行×オムロン
広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分) 14:00~(女) メイプルレッズ×シャトレレーゼ
佐賀・アラコ九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅徒歩10分) 13:00~(男) アラコ九州×ホンダ熊本
11月24日(日) 東京・大田区体育館(京急線梅屋敷駅徒歩5分) 13:00~(男) HC東京×ホンダ
愛知・知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分) 11:30~(男) トヨタ車体×大同特殊鋼

[2部]

- 11月21日(木) 山口・徳山市総合スポーツセンター 18:15~トクヤマ×トヨタ自動車 / 11月23日(土) 愛知・豊田合成(株)健康管理センター 14:00~豊田合成×北陸電力 兵庫・大阪ガス今津総合グラウンド 15:00~大阪ガス×インテックス21

オムロンがシャトレゼを破り3連勝 女子

女子は茨城などで2試合が行われ、シャトレゼ - オムロン戦は、高知国体決勝のリベンジに燃えるオムロンがシャトレゼを18 - 16と破って3連勝をマーク。有力候補と見られたシャトレゼはオープニングの北国銀行戦に続く開幕2連敗と苦しいスタートとなった。

この試合、早船の鮮やかな先制ゴールで好スタートを切ったシャトレゼが穂積のロングをかからめて前半15分5 - 3と優位に立っていたが、このあと要所のシュートをオムロン・G K吉田に阻まれてペースを崩し、逆に安心院らで加点したオムロンに10 - 9とリードを許して前半を折り返した。後半も変わらず主導権はオムロン。しかし、オムロンは7分、8分と連続して劉、佐久川が失格となり、流れはシャトレゼかと思われたが、ここから気迫のディフェンスでピンチをしのぎ、藤長、金城らで追加点を奪ってシャトレゼ必死の反撃を振り切った。5本の7mTをシャットアウトするなどオムロン・吉田の好守が際立った一戦だった。

H C名古屋 - ソニーセミコンダクタ九州戦は、エース田中の活躍で前半14 - 8とリードを奪ったソニーセミコンダクタ九州が22 - 21と初勝利をゲット。H C名古屋は残り2秒で同点とする7mTを得たが、これをソニー・G K飛田に弾かれて万事休した。

11月16日(土) 女子1部 茨城・水海道市民体育館	11月16日(土) 男子1部 東京・駒沢体育館
オムロン 18 (10-9) 16 3勝0分0敗	アラコ九州 27 (11-12) 21 2勝1分4敗
シャトレゼ 0勝0分2敗	H C東京 0勝0分7敗
<5/6> K 吉田 遠藤 K 3/7 藤長 原 2/2 4/7 安心院 桂 0/0 0/1 大石 菅原 0/3 1/4 0/0 西本 熊谷 0/1 1/1 2/9 富田 稲吉 1/2 2/2 佐久川 穂積 5/13 0/1 1/4 坂元 橋本 0/1 0/1 屋嘉 藤浦 1/2 0/0 細木 細谷 K <0/1> 0/0 水野 山崎 4/5 2/4 金城 早船 2/9 0/1 K 勝田 北野 K 3/8 劉晋淑 寺田 0/0	K 田中利 元村 K <0/1> 0/0 材木 武藤 0/1 0/0 高山 西村雅 3/5 5/11 村上 泉 0/1 8/12 アソビ 西村英 1/1 5/7 フジイ 宇田川竜 K <0/1> 2/2 3/5 植木 布田 0/2 1/2 2/2 鶴田 木村 0/2 2/6 田中慎 須藤 2/5 0/2 阪 五島 6/15 <1/2> K 谷川 飯島 4/9 0/0 錦戸 佐藤 0/0 小野 4/7 佐々木 0/0
1/1 17/43 27(FPP)3 15/38 1/6 審判(浜田・小笠原) 観客 331人	2/2 25/45 6(FPP)9 20/48 1/2 審判(福田・富田) 観客 216人

11月16日(土) 男子1部 東京・駒沢体育館	11月16日(土) 女子1部 愛知・半田市体育館	11月17日(日) 男子1部 東京・駒沢体育館	11月17日(日) 男子1部 東京・駒沢体育館
大崎電気 28 (13-13) 23 4勝0分3敗	ソニーセミコンダクタ九州 22 (14-8) 21 1勝0分2敗	大同特殊鋼 19 (10-7) 19 4勝1分2敗	ホンダ熊本 30 (17-11) 27 7勝0分0敗
トヨタ車体 2勝0分5敗	H C名古屋 0勝0分4敗	ホンダ熊本 2勝2分3敗	湧永製薬 5勝0分2敗
K 原田 田中勝 0/2 7/9 豊田 田中秀 0/0 5/10 中川 宮地 4/5 0/1 佐藤 角谷 6/8 0/0 小森 新美 0/0 4/8 岩本 北川 0/0 4/4 0/0 森本 北下 6/7 K 濱口 竹出 3/10 0/1 秋山 渡辺 K <0/1> 1/1 永島 清谷 1/1 2/2 東長 長谷川 0/3 3/3 近藤 加藤 3/4 2/5 辻林 田 K <0/3> 0/0 太田	K 首藤 萩野 3/4 0/0 岩本 藤田 0/1 0/0 片山 菅谷枝 4/11 1/2 5/14 田中 加藤 2/4 5/6 山中 加治木 0/6 1/2 水田 菅谷奈 5/13 3/4 2/2 2/4 南田 羽出重 1/4 1/1 出雲 加納 0/0 0/0 高木 安達 K <0/1> <2/6> K 飛田 白崎 2/3 2/5 鶴野 島田 0/0 4/7 佐久川 宮田 0/0 0/0 貞永 川畑 K 0/1 野口 石川 K <0/1>	<0/3> K 荻田 藤田 K 5/6 松林 大宮 0/3 0/3 南川 米中 1/2 1/4 富本 米満 4/4 0/3 峯村 上田 0/0 0/1 0/4 中谷 本多 0/1 1/2 2/市原 間島 1/1 0/0 藤井 作田 0/8 1/6 島中 佐藤 伯 3/6 1/2 1/1 大田 松田 0/0 <1/2> K 日原 本 1/3 3/3 K 高木 吉田 K <2/5> 2/6 趙範衍 ジザ 1/4 5/12 朴性立 ヲノ 4/9 1/1	<0/2> K 四方 下川 5/7 3/5 池辺 東 0/2 0/0 羽賀 浜本 3/4 0/0 佐々木 沙那 0/5 2/6 茅場 中山 0/4 0/1 斎藤 芥川 6/18 3/3 0/0 横地 加川 0/0 4/9 広政 坪根 K <0/1> 5/8 谷口 小沢 0/0 0/0 鈴木 森山 2/3 0/0 野嶋 杉山 3/3 <0/1> K 吉井 松村 K <0/1> 1/1 9/18 スタックン 古家 2/8 1/1 5/8 クレコ 山口 3/3
4/4 24/40 11(FPP)19 23/40 0/0 審判(仲田・植村) 観客 264人	2/2 20/40 10(FPP)2 17/46 4/6 審判(楓・渡辺) 観客 240人	3/5 16/47 15(FPP)5 15/41 4/5 審判(福田・富田) 観客 225人	2/2 28/55 3(FPP)6 24/57 3/3 審判(仲田・植村) 観客 361人

サークルK・サンクスカップ

個人表彰

最高殊勲選手賞

ステファン・ストックラン
(ホンダ)

殊勲選手賞

リホ・ブルーノ プラマニス
(湧永製薬)

松林 克明(大同特殊鋼)

優秀監督賞

橋本 行弘(ホンダ)

インテックスらが勝利 2部男子

男子2部は11月16日に愛知、兵庫で1試合ずつが行われ、3戦負けなしの北陸電力を追うインテックス21が、ホームコートでの戦いに燃える豊田合成に11点差をつけて順当勝ち。

大阪ガス - トクヤマ戦は、9 - 10と1点リードを許して後半に入った大阪ガスが、8分過ぎからの5連打で逆転に成功。これで波に乗った大阪ガスは、その後もテンが良く得点を積み重ね、9点差をつけての圧勝。ホームコートでうれしい今期初勝利を飾った。

次週も山口、愛知、兵庫を舞台に、3試合が予定されている。

11月16日(土) 男子2部 愛知・豊田合成(株)健康管理センター	11月16日(土) 男子2部 兵庫・大阪ガス今津総合グラウンド体育館
インテックス21 25 (12-6) 14 2勝1分1敗	豊田合成 1勝0分3敗
3/10 蔵野 梅村 K <0/2> 0/2 高田 鈴木 0/0 2/4 一法師 高間 4/6 3/4 峰 橋村 1/2 0/0 古川 面家 0/0 1/4 久野 川島 1/1 2/2 3/4 山口 門野 0/0 K 宮本 墨田 0/0 0/0 呉相本 中山 0/0 6/12 崎前 木村 3/14 5/9 佐久間 名倉 0/0 K 有江 佐藤 2/6 半田 0/4 山田 3/7	2/2 奥野 山下 K <1/1> 4/9 三羽 前山 0/0 6/10 川野 湊 0/0 0/0 大庭 佐藤 3/4 8/9 鳥平 未永武 5/8 7/9 浜田 保科 5/10 2/3 0/1 3/10 八幡 坂根 0/0 1/2 向井 岡本 1/3 0/1 鶴井 佐伯 1/9 0/1 <2/4> K 福田 中村 1/2 森田 0/0 未永大 4/13
2/2 23/49 9(FPP)4 14/40 0/0 審判(船谷・丸山) 観客 182人	0/1 31/52 6(FPP)9 20/49 2/4 審判(池淵・檜崎) 観客 29人

日本リーグのホットな情報をどうぞ.....

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのもとに郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ委員会公式情報・週間「JHL ニュース」

年間19回発行予定/3000円(郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会 (TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)

男女1部個人賞レース 第4週終了現在

《男子》 《女子》

得点王

1 ブラマニス (湧永製薬) 48点 (7試合)	1 菅谷 美枝 (H C 名古屋) 18点 (4試合)	1 菅谷 美奈 (H C 名古屋) 18点 (4試合)
2 クリチェンコ (ホンダ) 40点 (7試合)	1 菅谷 美奈 (H C 名古屋) 18点 (4試合)	3 富田 有美 (オムロン) 16点 (3試合)
2 角谷 裕司 (トヨタ車体) 40点 (7試合)	3 富田 有美 (オムロン) 16点 (3試合)	4 呉 成玉 (メイプルレッズ) 13点 (2試合)
4 ストックラン (ホンダ) 38点 (7試合)	4 呉 成玉 (メイプルレッズ) 13点 (2試合)	5 田中 美音子 (ソニー) 12点 (3試合)
4 クジノフ (ホンダ熊本) 38点 (7試合)	5 田中 美音子 (ソニー) 12点 (3試合)	6 山田 早織 (ソニー) 11点 (3試合)
6 植木 宏和 (アラコ九州) 35点 (7試合)	6 山田 早織 (ソニー) 11点 (3試合)	6 村上 麻美 (北国銀行) 11点 (2試合)
6 朴 性立 (大同特殊鋼) 35点 (7試合)	6 村上 麻美 (北国銀行) 11点 (2試合)	6 穂積 知紘 (シャトレゼ) 11点 (2試合)
8 田中 慎一 (アラコ九州) 31点 (7試合)	6 穂積 知紘 (シャトレゼ) 11点 (2試合)	6 南田 征子 (ソニー) 11点 (3試合)
9 中川 善雄 (大崎電気) 29点 (7試合)	6 南田 征子 (ソニー) 11点 (3試合)	10 劉 晋淑 (オムロン) 10点 (3試合)
9 岩本 真典 (大崎電気) 29点 (7試合)	10 劉 晋淑 (オムロン) 10点 (3試合)	11 小野澤 香理 (北国銀行) 9点 (2試合)
9 アントル (アラコ九州) 29点 (7試合)	11 小野澤 香理 (北国銀行) 9点 (2試合)	11 藤長 靖子 (オムロン) 9点 (3試合)
12 チョレイ (アラコ九州) 27点 (7試合)	11 藤長 靖子 (オムロン) 9点 (3試合)	11 坂元 智子 (オムロン) 9点 (3試合)
13 村上 直樹 (アラコ九州) 26点 (7試合)	11 坂元 智子 (オムロン) 9点 (3試合)	11 羽出重 真紀 (H C 名古屋) 9点 (4試合)
13 加藤 久輝 (トヨタ車体) 26点 (7試合)	11 羽出重 真紀 (H C 名古屋) 9点 (4試合)	15 佐久川かおり (ソニー) 8点 (3試合)
15 浜本 忠志 (湧永製薬) 25点 (7試合)	15 佐久川かおり (ソニー) 8点 (3試合)	
15 五島 宏隆 (H C 東京) 25点 (7試合)		

フィールド得点賞

1 角谷 裕司 (トヨタ車体) 40点 (7試合)	1 菅谷 美枝 (H C 名古屋) 15点 (4試合)	1 菅谷 美枝 (H C 名古屋) 15点 (4試合)
2 ストックラン (ホンダ) 37点 (7試合)	2 呉 成玉 (メイプルレッズ) 13点 (2試合)	2 呉 成玉 (メイプルレッズ) 13点 (2試合)
3 クジノフ (ホンダ熊本) 33点 (7試合)	3 田中 美音子 (ソニー) 12点 (3試合)	3 田中 美音子 (ソニー) 12点 (3試合)
4 ブラマニス (湧永製薬) 32点 (7試合)	4 山田 早織 (ソニー) 11点 (3試合)	4 山田 早織 (ソニー) 11点 (3試合)
5 田中 慎一 (アラコ九州) 31点 (7試合)	4 菅谷 美奈 (H C 名古屋) 11点 (4試合)	4 菅谷 美奈 (H C 名古屋) 11点 (4試合)
6 中川 善雄 (大崎電気) 29点 (7試合)	6 穂積 知紘 (シャトレゼ) 10点 (2試合)	6 穂積 知紘 (シャトレゼ) 10点 (2試合)
7 アントル (アラコ九州) 28点 (7試合)	6 劉 晋淑 (オムロン) 10点 (3試合)	6 劉 晋淑 (オムロン) 10点 (3試合)
7 岩本 真典 (大崎電気) 28点 (7試合)	8 小野澤 香理 (北国銀行) 9点 (2試合)	8 小野澤 香理 (北国銀行) 9点 (2試合)
9 チョレイ (アラコ九州) 27点 (7試合)	8 藤長 靖子 (オムロン) 9点 (3試合)	8 藤長 靖子 (オムロン) 9点 (3試合)
9 植木 宏和 (アラコ九州) 27点 (7試合)	8 坂元 智子 (オムロン) 9点 (3試合)	8 坂元 智子 (オムロン) 9点 (3試合)
	8 羽出重 真紀 (H C 名古屋) 9点 (4試合)	8 羽出重 真紀 (H C 名古屋) 9点 (4試合)

シュート率賞 (フィールド得点上位10人を対象)

1 チョレイ (アラコ九州) 27点/ 41射 0.659	1 山田 早織 (ソニー) 11点/ 15射 0.733
2 角谷 裕司 (トヨタ車体) 40点/ 70射 0.571	2 小野澤 香理 (北国銀行) 9点/ 14射 0.643
3 ストックラン (ホンダ) 37点/ 73射 0.507	3 藤長 靖子 (オムロン) 9点/ 16射 0.563
4 中川 善雄 (大崎電気) 29点/ 61射 0.475	3 坂元 智子 (オムロン) 9点/ 16射 0.563
5 アントル (アラコ九州) 28点/ 60射 0.467	5 呉 成玉 (メイプルレッズ) 13点/ 25射 0.520
5 岩本 真典 (大崎電気) 28点/ 60射 0.467	

7mT得点賞

1 ブラマニス (湧永製薬) 16点 (7試合)	1 富田 有美 (オムロン) 8点 (3試合)	1 富田 有美 (オムロン) 8点 (3試合)
1 クリチェンコ (ホンダ) 16点 (7試合)	2 菅谷 美奈 (H C 名古屋) 7点 (4試合)	2 菅谷 美奈 (H C 名古屋) 7点 (4試合)
3 森本 彰宏 (大崎電気) 14点 (7試合)	3 村上 麻美 (北国銀行) 5点 (2試合)	3 村上 麻美 (北国銀行) 5点 (2試合)
4 大田 修一 (大同特殊鋼) 12点 (7試合)	3 青戸 あかね (メイプルレッズ) 5点 (2試合)	3 青戸 あかね (メイプルレッズ) 5点 (2試合)
5 朴 性立 (大同特殊鋼) 10点 (7試合)	5 南田 征子 (ソニー) 3点 (3試合)	5 南田 征子 (ソニー) 3点 (3試合)
	5 菅谷 美枝 (H C 名古屋) 3点 (4試合)	5 菅谷 美枝 (H C 名古屋) 3点 (4試合)

7mスロー阻止賞

1 吉田 耕平 (ホンダ熊本) 10本/ 26射 (7試合)	1 吉田 由香 (オムロン) 7本/ 10射 (3試合)
2 坪根 敏宏 (湧永製薬) 5本/ 16射 (7試合)	2 安達 多華美 (H C 名古屋) 4本/ 8射 (4試合)
3 濱口 靖 (大崎電気) 4本/ 10射 (7試合)	2 飛田 季実子 (ソニー) 4本/ 17射 (3試合)
3 荻田 圭 (大同特殊鋼) 4本/ 11射 (7試合)	4 高森 妙子 (メイプルレッズ) 1本/ 2射 (2試合)
3 谷川 一寿 (アラコ九州) 4本/ 23射 (7試合)	4 浅井 友可里 (メイプルレッズ) 1本/ 3射 (2試合)
	4 宮西 慶乃 (北国銀行) 1本/ 3射 (2試合)
	4 石川 雪絵 (H C 名古屋) 1本/ 7射 (4試合)

第27回日本ハンドボールリーグ成績表

第4週終了 11月17日現在

順位	1部男子	ホンダ	湧永製薬	大同特殊鋼	大崎電気	ホンダ熊本	アラコ九州	トヨタ車体	H C 東京	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	ホンダ		30	24	25	26	35	31	32	7	7	0	0	14	203	147	56
2	湧永製薬	27		23	23	36	36	36	36	7	5	0	2	10	217	175	42
3	大同特殊鋼	19	27		21	19	31	26	29	7	4	1	2	9	172	142	30
4	大崎電気	22	22	26		29	22	28	28	7	4	0	3	8	177	156	21
5	ホンダ熊本	18	25	19	26		20	22	25	7	2	2	3	6	155	158	-3
6	アラコ九州	25	30	17	24	20		23	27	7	2	1	4	5	166	192	-26
7	トヨタ車体	20	24	17	23	14	27		20	7	2	0	5	4	145	185	-40
8	H C 東京	16	17	16	14	14	21	19		7	0	0	7	0	117	197	-80

順位	1部女子	オムロン	メイブルズ	北国銀行	ソニー	シャトレゼ	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン				21	18	24	3	3	0	0	6	63	45	18
2	広島メイブルズ				26		27	2	2	0	0	4	53	36	17
3	北国銀行					18	26	2	2	0	0	4	44	34	10
4	ソニーセミコンダクタ九州	13	18				22	3	1	0	2	2	53	68	-15
5	シャトレゼ	16		17				2	0	0	2	0	33	36	-3
6	H C 名古屋	16	18	17	21			4	0	0	4	0	72	99	-27

順位	2部男子	北陸電力	インテックス21	トヨタ自動車	大阪ガス	トクヤマ	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		23		25	34		3	3	0	0	6	82	52	30
2	インテックス21	19		24		39	25	4	2	1	1	5	107	78	29
3	トヨタ自動車		24		26		29	3	2	1	0	5	79	56	23
4	大阪ガス	16		16		31	17	4	1	0	3	2	80	91	-11
5	トクヤマ	17	17		22		32	4	1	0	3	2	88	129	-41
6	豊田合成		14	16	18	25		4	1	0	3	2	73	103	-30

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。